



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 アップルインターナショナル株式会社

コード番号 2788 URL <https://www.apple-international.com>

代表者 （役職名）代表取締役会長兼社長 （氏名）久保 和喜

問合せ先責任者 （役職名）営業本部 事業推進部 （氏名）森岡 宏昭 TEL 059-347-3515

半期報告書提出予定日 2026年8月10日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	24,396	30.6	590	113.5	725	255.6	553	423.2
2025年12月期中間期	18,683	△19.3	276	△66.4	204	△77.9	105	△84.3

（注）包括利益 2026年12月期中間期 584百万円（688.2%） 2025年12月期中間期 74百万円（△90.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	42.98	42.91
2025年12月期中間期	8.24	8.20

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	22,709	11,360	47.1
2025年12月期	20,540	10,892	50.0

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 10,691百万円 2025年12月期 10,268百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年12月期	—	0.00			
2026年12月期（予想）			—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,856	△12.1	769	35.5	930	66.5	615	△21.8	47.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期中間期	13,943,400株	2025年12月期	13,861,400株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	1,020,276株	2025年12月期	1,020,276株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年12月期中間期	12,886,528株	2025年12月期中間期	12,841,124株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、自動車市場の拡大が見込まれる東南アジア諸国等を中心に、多国間の貿易ルートを確保、高付加価値化を図ることにより自動車市場の流通の活性化と収益拡大に努めてまいりました。

当中間連結会計期間において、海外中古車輸出事業は、為替相場が円安基調だったこともあり、マレーシア向けの需要が引き続き堅調に推移し、出荷台数が当初の予想以上に増加しました。タイ向けにおいては、中国製電気自動車の増加により日本製自動車の販売について先行きが不透明な中、軟調ではありますが前年対比では増加いたしました。

また、国内では新車登録台数が微減傾向にあり、中古車相場について落ち着いているなか、取扱台数は前年同期並みに推移しました。

当社グループは、従来と同様、自動車市場の拡大が見込まれる東南アジア諸国等を中心に、多国間の貿易ルートを確保、高付加価値化を図ることにより自動車市場の流通の活性化と収益拡大に努めてまいりました。

上記の結果、当中間連結会計期間の連結業績は、売上高は24,396百万円(前年同期比30.6%増)、営業利益は590百万円(前年同期比113.5%増)、経常利益は725百万円(前年同期比255.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は553百万円(前年同期比423.2%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①自動車販売関連事業

中古車業界におきましては、2026年1月から2026年6月までの国内中古車登録台数は1,845,809台(前年同期比0.2%減)とほぼ横ばいでした。(出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ)中古車輸出業界におきましては、2026年1月から2026年6月までの中古車輸出台数は749,284台(前年同期比3.8%増)と前年を上回る結果となりました。(出典：財務省貿易統計データ)

上記の結果、当中間連結会計期間の売上高は24,317百万円(前年同期比30.5%増)、セグメント利益は649百万円(前年同期比90.0%増)となりました。

②その他事業(リユース流通事業)

当社グループは、自動車をはじめとしたリユースビジネスを通じて、持続可能な循環型社会の実現への貢献の一環として、連結子会社のアップルオートネットワーク株式会社において、2023年10月より時計、貴金属等のブランド品買取事業を行っています。査定から売却までAIを活用したインターネット上で完結するシステムを構築するとともに、東京都内に買取専門店舗を営業しております。また、東京都及び三重県にあります直営の中古車販売買取店舗においてブランド品買取コーナーを併設する等、既存リソースを活用した事業展開も進めています。

上記の結果、当中間連結会計期間の売上高は79百万円(前年同期比59.9%増)、セグメント損失は13百万円(前年同期は10百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産・負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末(2025年12月末)と比較して2,169百万円増加して22,709百万円となりました。これは主に、商品及び製品が939百万円、現金及び預金が358百万円減少した一方で、売掛金が3,366百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して1,701百万円増加して11,349百万円となりました。これは主に、長期借入金が477百万円減少した一方で、短期借入金が1,500百万円、預り金が822百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して467百万円増加して11,360百万円となりました。なお、自己資本比率は47.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末(2025年12月末)と比較して363百万円減少し4,223百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

棚卸資産の減少額843百万円、預り金の増加額822百万円、税金等調整前中間純利益783百万円等があった一方で、売上債権の増加額3,366百万円等があったことから、1,023百万円の支出(前年同期は254百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出70百万円等があったことから、89百万円の支出(前年同期は82百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出636百万円、配当金の支払額126百万円等があった一方で、短期借入金の純増加額1,500百万円等があったことから、749百万円の収入(前年同期は40百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、今後の当社を取り巻く経営環境は引き続き困難な状況であることから、2026年2月13日に公表いたしました連結業績予想を据え置くことといたしました。今後の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示することといたします。また、現在のところ中東情勢の緊迫化による影響は限定的ですが、引き続き今後の動向を注視してまいります。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,731,852	4,373,391
売掛金	5,801,589	9,167,902
商品及び製品	6,963,798	6,024,035
原材料及び貯蔵品	1,329	1,169
前渡金	13,629	86,635
その他	600,408	578,618
貸倒引当金	△223,905	△235,192
流動資産合計	17,888,701	19,996,560
固定資産		
有形固定資産	943,392	1,017,927
無形固定資産	32,235	56,154
投資その他の資産		
投資有価証券	1,473,991	1,450,812
長期貸付金	128,872	126,600
長期営業債権	431,127	429,909
長期滞留債権	276,115	276,203
繰延税金資産	41,587	43,732
その他	147,627	133,534
貸倒引当金	△822,973	△821,621
投資その他の資産合計	1,676,347	1,639,171
固定資産合計	2,651,975	2,713,253
資産合計	20,540,676	22,709,813
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	337,613	328,980
短期借入金	5,110,000	6,610,000
1年内返済予定の長期借入金	1,131,434	972,634
未払金	178,050	85,676
預り金	313,302	1,135,745
未払法人税等	63,500	183,256
契約負債	170,562	196,689
その他	133,079	159,624
流動負債合計	7,437,543	9,672,606
固定負債		
長期借入金	1,903,743	1,426,385
役員退職慰労引当金	57,591	—
退職給付に係る負債	8,040	9,166
資産除去債務	61,179	62,387
その他	180,012	178,859
固定負債合計	2,210,567	1,676,798
負債合計	9,648,110	11,349,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,325,247	4,336,743
資本剰余金	369,281	380,777
利益剰余金	5,491,921	5,917,349
自己株式	△245,291	△245,291
株主資本合計	9,941,159	10,389,579
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	327,201	302,301
その他の包括利益累計額合計	327,201	302,301
新株予約権	552	—
非支配株主持分	623,652	668,526
純資産合計	10,892,565	11,360,408
負債純資産合計	20,540,676	22,709,813

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	18,683,632	24,396,652
売上原価	17,209,093	22,498,543
売上総利益	1,474,538	1,898,109
販売費及び一般管理費	1,198,163	1,307,991
営業利益	276,375	590,117
営業外収益		
受取利息	2,175	3,987
受取配当金	7	7
持分法による投資利益	76,271	82,720
受取補償金	—	99,980
為替差益	—	2,282
その他	18,477	20,373
営業外収益合計	96,931	209,351
営業外費用		
支払利息	47,700	64,239
貸倒引当金繰入額	93,241	87
為替差損	17,568	—
その他	10,672	9,376
営業外費用合計	169,182	73,703
経常利益	204,123	725,766
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	—	57,591
新株予約権戻入益	—	355
特別利益合計	—	57,946
特別損失		
固定資産除却損	621	—
店舗閉鎖損失	5,933	—
特別損失合計	6,555	—
税金等調整前中間純利益	197,567	783,712
法人税等	75,301	174,786
中間純利益	122,266	608,926
非支配株主に帰属する中間純利益	16,415	55,087
親会社株主に帰属する中間純利益	105,851	553,838

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	122,266	608,926
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	△48,170	△24,899
その他の包括利益合計	△48,170	△24,899
中間包括利益	74,096	584,027
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	57,681	528,939
非支配株主に係る中間包括利益	16,415	55,087

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	197,567	783,712
減価償却費	23,257	32,757
貸倒引当金の増減額(△は減少)	131,866	9,935
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	891	1,125
受取利息及び受取配当金	△2,182	△3,994
支払利息	47,700	64,239
為替差損益(△は益)	16,554	△3,883
店舗閉鎖損失	5,933	—
受取補償金	—	△99,980
持分法による投資損益(△は益)	△76,271	△82,720
固定資産除却損	621	—
新株予約権戻入益	—	△355
売上債権の増減額(△は増加)	△546,647	△3,366,313
棚卸資産の増減額(△は増加)	383,545	843,846
前渡金の増減額(△は増加)	△45,181	△73,006
未収入金の増減額(△は増加)	106,834	29,322
仕入債務の増減額(△は減少)	237,975	△8,633
未払金の増減額(△は減少)	△38,008	△24,213
預り金の増減額(△は減少)	156,208	822,442
契約負債の増減額(△は減少)	△36,197	26,127
その他	△112,384	△46,807
小計	452,085	△1,096,397
利息及び配当金の受取額	66,230	76,728
利息の支払額	△50,070	△66,836
法人税等の支払額	△213,737	△41,582
法人税等の還付額	—	4,276
補償金の受取額	—	99,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	254,508	△1,023,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,936	△70,780
無形固定資産の取得による支出	△3,860	△35,373
貸付金の回収による収入	1,137	1,137
敷金及び保証金の差入による支出	△76,085	△11,990
敷金及び保証金の回収による収入	3,766	27,172
その他	△180	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,158	△89,835
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△398,628	1,500,000
長期借入れによる収入	1,299,989	—
長期借入金の返済による支出	△661,656	△636,158
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	22,796
配当金の支払額	△187,969	△126,661
その他	△10,848	△10,214
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,887	749,761
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	213,236	△363,905
現金及び現金同等物の期首残高	4,235,562	4,587,827
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,448,799	4,223,922

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車販売 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	18,633,995	49,636	18,683,632	—	18,683,632
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,633,995	49,636	18,683,632	—	18,683,632
セグメント利益又は損失(△)	341,869	△10,400	331,469	△55,094	276,375

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リユース流通事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△55,094千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車販売 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	24,317,293	79,358	24,396,652	—	24,396,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	24,317,293	79,358	24,396,652	—	24,396,652
セグメント利益又は損失(△)	649,716	△13,886	635,830	△45,712	590,117

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リユース流通事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△45,712千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。